



自衛隊栃木地方協力本部

「渡良瀬遊水地フェスティバル2025で広報展」 栃木市制15周年記念行事で認知向上



軽装甲機動車のまえて記念撮影！「ハイポーズ！」



小山地域事務所は、「自衛隊広報」として、地元の祭りの盛り上がりの一助となれたことを感じ、自衛隊に対する興味及び理解を得られた広報展であった。今後も自衛隊を身近に感じてもらえるよう広報イベントに積極的に参加していき、地域の盛り上がりにも貢献していきたい」としている。

自衛隊栃木地方協力本部小山地域事務所（所長 小林1空尉）は12月13日（土）、栃木市藤岡町の渡良瀬遊水地で実施された「渡良瀬遊水地フェスティバル2025（以下「わたフェス」という。）」において、中央即応連隊（宇都宮）の支援を受け広報展を実施した。わたフェスは「空・水・大地と遊ぶ」をコンセプトに様々な催し物を楽しめるイベントで、「空」では熱気球飛行体験、「水」ではカヌー・カヤック展示、「大地」ではロードバイク体験などが渡良瀬遊水地で体験できる魅力があふれるイベントで県内外から沢山の来場者が訪れた。自衛隊ブースでは軽装甲機動車の車両展示のほか陸海空自衛隊の制服や迷彩服試着が行われた。普段見ることのできない自衛隊車両と制服試着は人気を博し、子供から大人まで幅広い来場者でにぎわった。



記念撮影をする来場者